
閉じ込められた俺

儀豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

閉じ込められた俺

【Nコード】

N6833A

【作者名】

儀豆

【あらすじ】

俺田中。突然だけどトイレに閉じ込められた。

（前書き）

初！！です（^ - ^）もしちょっとでも気に入ってくれれば幸いです！バカバカしい感じが伝わればいいなあ…笑

む…どうしようか？

ん…とりあえず心を落ち着かせる為にも、何故このような状況になったか整理しよう。

ナンベンも言うが。俺は田中だ。

そして17歳。今最も輝かしい時を生きる。

…ハズなのに何故か便所で頭を抱えてる。

今閉じ込められてると言うことは、個室にいるわけだが。そもそも
う　こがしたくて入った訳ではない。

小を足してたら、個室の奥にある物が見えたんだ。

それで俺はもしか…と思ったね。

エロ本
…

ねえ、あのさあ。なんで野外に落ちてるエロ本ってさあ…。妙にドキドキするんだろうね？

俺は辺りを見回すと個室のドアを誰もいないのにそーっと閉めた。

あーそうだ。閉めちゃったんだよなあ…。
あの時閉めないでお持ち帰りすれば……………

ん？いかん。

そういうことではないよな？？

うん。

その後俺はそのエロ本をマジマジと見た。

…騙された！！！！！！

なんかガツカリだよ…

俺の求めてるエロスとは程遠いんだ。コレが。

というか、俺は今閉じ込められていることより
エロ本に裏切られたことによるショックの方が大きいかもしれない。

うん…そうだ。

俺は確信した。

あのどきどきとして、なおかつワクワクとした俺の純粋な気持ちを
簡単に裏切りやがって。

なにが『野外で見つけるエロ本は興奮する』だ！！

こんなもの…こんなもの…え…いい！

ふう…

なんだか取り乱したようだな。

仕方がない。脱出方法を考えようか。

とりあえず、何故開かないのかだな。

古くて錆びているからなのかな？ いやそれにしたって男の力で開かないくらいな訳がない…

なにかつつかかっているようでもないんだよな…

力いっぱい押したがためだ……。。

ん？なんか今微弱だがテレパシーが心に響いたんだが…？

これ見てるあなた今『どうせ押すんじゃなくて引いたら簡単に開くんだろ』と思ったでしょ？

このばかちんがっ！！！！

もうそれは一番最初に試したのっ

はあ。

俺は見事なまでに開かずの扉とエロ本とエロ本とエロ本にうちのめ
されていた。

なんかだんだん暗くなってきたし…
腹もへったよ…

俺このまま死ぬのかな…

思えば俺の人生長い様で短かったな…
俺が死んだらみんな泣くかな？

…いや、笑うかな？
俺だって笑っちゃうもん。死に場所が便所、しかも個室だもんな…
ははっ。

『ははは。ふふふふ。』
『いやあ—————!!』

む?!?!
人か??人が来たのか?!
『おゝゝい!たすけてくれゝ!!』

「お願い早く電話して!」
「大丈夫だ、今したから。とりあえず落ち着け」

なんか男と女の声がする。なんでもいいからたすけろって!!

『はやく！こつち来てくれ！聞こえてるんだろ！！見てくれ！見ればこの状態がわかるから！』

俺は無我夢中だ。

「いやああゝなにを見せる気?!」

ウーウーウーウー

パトカーのサイレンが聞こえる。
だんだん音がでかくなってくる。

ああ！ありがとう！

助けを呼んでくれたんだね?!

シカトしやがるからどう殺そうか考えたけど…

きみ達は天使だ…！

そうして何やら道具を使いドアを無理矢理こじ開けてみえた外の光
……

ボクは…ボクは自由なんだネ!!

『猥褻罪でタイーホする。』

なぬ？

「「通報しました。」」

さっきの声の二人か？

どうやら、俺は完璧に変質者だと思われたみたいだなっ。

ん…？よく考えたら俺が見つけたエロ本は男子トイレをでたところから見える、

女子トイレの床に落ちていたような。

そしてふらふらとそのまま婦人用へとゴー！！

…やっと忘れていた記憶の断片が俺の脳に戻ってきて、この事件は一本につながった…

俺は事情を説明したが伝わるわけもなく
しばらくして親が迎えにきた。
情けない！といって泣いた。

俺ももらい泣き。

【一応：この場合もらい泣きとは言わない笑】

俺自身も忘れていたが俺田中は花の１７歳なのでチリ毛をこすりつけて謝ったらなんとか逮捕されずにすんだ。

いやあゝ１７歳だつて信じてもらえなかった時はやっぱショックだったけどね…！

そして俺たちそっくり親子は久しぶりに三人並んであるいた。少し幸せかな？なあゝんで。

俺は無事生きて帰れたことを神に感謝した。

…それを同級生の田辺に見られたなんて知らずに…

きつと続く

（後書き）

読んでくれて本当にどうもです！田中どうでした？笑 やたらと俺
俺うるさいから疲れた人もいるかも…笑 よかったらコメント残し
てってください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6833a/>

閉じ込められた俺

2010年10月13日09時46分発行